

2024 年 8 月 20 日
西日本旅客鉄道株式会社

広島駅ビル建替え工事「魅せる仮囲い」第 6 弾の実施について

JR 広島駅では、広島駅ビル建替工事において設置されている工事用仮囲いを、「HIROSHIMA CONNECTING WALL（ヒロシマコネクティングウォール）」と題し、“魅せる仮囲い”として活用した取り組みを進めております。これまで広島を発信すべく様々なテーマで装飾を行ってきましたが、この度第 6 弾としてこれまでの約 5 年の“魅せる仮囲い”としての取り組みを振り返っていただくことをテーマにした装飾および総集編パンフレット配布を行います。

1. 本取り組みについて

(1) 内容

これから変貌を遂げようとする国際平和文化都市広島の玄関口「広島駅」から、広島が持つ誇りや魅力、それらを生み出した DNA をストーリーにして発信。行きかう人々に新たな気付きを届け、広島を再発見してもらいたい。広島駅南口が単なる工事現場ではなく、「まち」「ひと」「とき」をつなぐコミュニケーションの場として賑わせていきたいという思いを込めて、2020 年 7 月から継続してきたプロジェクト「HIROSHIMA 「魅せる仮囲い」総集編パンフレット（案）

CONNECTING WALL（ヒロシマコネクティングウォール）」を今一度振り返っていただくことをテーマに、仮囲いの装飾とこれまでのプロジェクトをまとめたパンフレットの配布を行います。

2025 年春、新しく生まれ変わる広島駅は、広島の玄関口として、これからも広島を発信していきます。



(2) 掲出イメージ（例）

- ・“魅せる仮囲い”としての取り組みの振り返りをテーマとしたデザイン装飾。



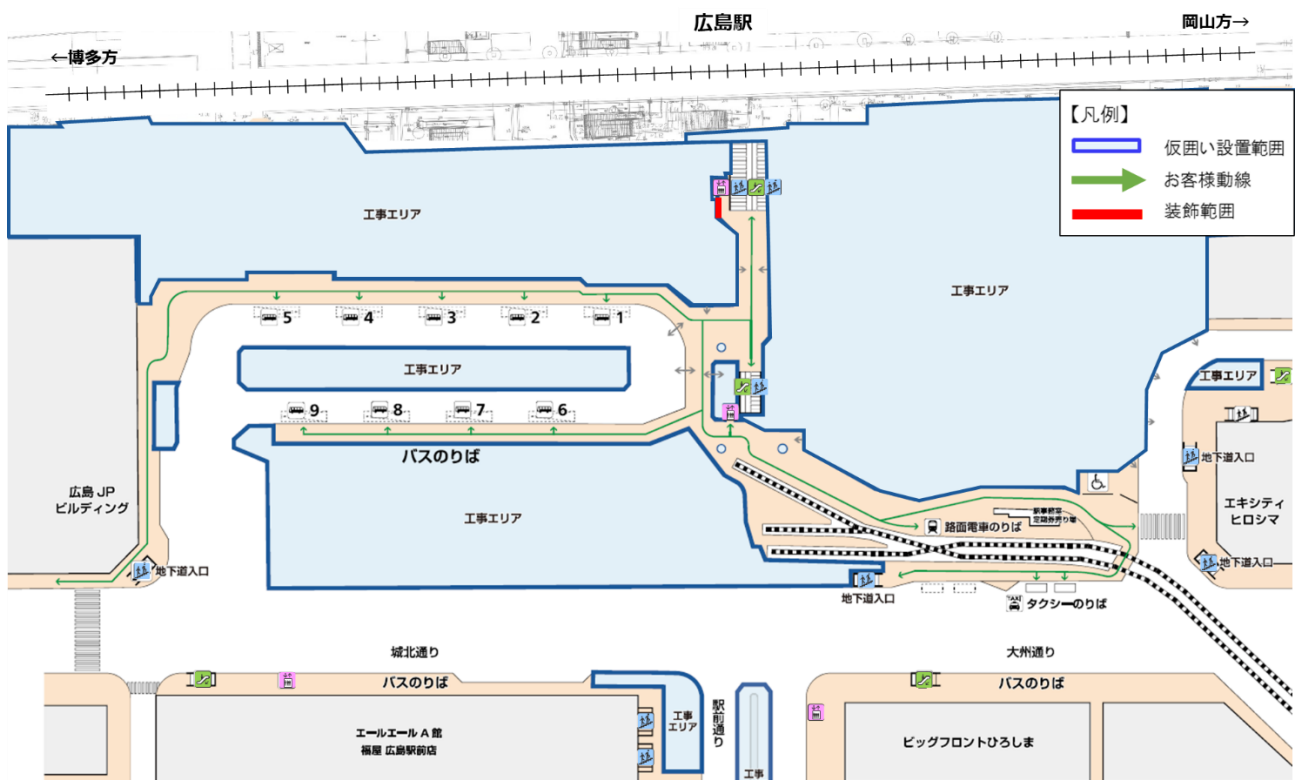
(3) 掲出概要

【掲出面積、位置】

- ・全体の掲出面積は、約 10 m²（高さ約 1.8m×幅約 5.5m）です。
- ・掲出位置は、下図赤色線をご参照ください。

【掲出期間】

- ・2024 年 8 月 30 日（金）～2024 年 11 月末頃
- ※工事の進捗により掲出期間に変更の可能性があります。



今回の取り組みは、SDGs の 17 のゴールのうち、特に 9 番、17 番に貢献するものと考えています。



JR西日本グループは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。



別紙

<本取り組みの全体概要>

(1) 取り組みの目的

工事用仮囲いという本来無機質な壁に装飾を行い、広島県の誇りや魅力、それを生み出した DNA をストーリーにして発信していくことで、コミュニケーションの場へと変えていき、国際平和文化都市“HIROSHIMA”の玄関口を彩っていくことを目的としています。

(2) 魅せる仮囲いのメインコンセプト

「HIROSHIMA CONNECTING WALL」

このコンセプトは、広島駅が広島の玄関口にふさわしい新たな賑わいや交流、感動を創出する施設となることを目指し、工事期間中においても地域の皆さまと一体となり街の活気をつくりあげていくために、無機質な壁である工事用仮囲いを活用し、「まち」「ひと」「とき」をつなぐ (CONNECT) コミュニケーションの場へと変えていくという想いを込めています。



(3) 実施期間

2020 年 7 月～2025 年頃（工事用仮囲いの切替に伴い実施予定）

(4) これまでの取り組み

- ・ 第 1 弾：「HIROSHIMA PRIDE（ヒロシマプライド）」（2020 年 7 月～2021 年 2 月）
1945 年の原爆投下後、「75 年は草木が生えない」と言われた広島の現在に至るまでの力強い復興の歴史と人々の歩みを発信
- ・ 第 2 弾：「広島酒」(2020 年 11 月～2021 年 5 月)
全国的にも酒処として名高い広島が持つ風土や歴史が培ってきた日本酒造りのストーリーや長年広島酒を支えてきた造り人（杜氏）の想いを紹介
- ・ 第 3 弾：「広島スポーツ」(2022 年 1 月～2022 年 7 月)
新型コロナウイルス感染拡大の影響により、スポーツに関わる機会が奪われつつある中でも、改めてスポーツに触れる喜びを感じて頂き、日々スポーツに励む人を紹介
- ・ 第 4 弾：「広島を食べよう」(2022 年 11 月～2023 年 5 月)
海と山に囲まれた地形により、魅力的な食文化を形成している広島。世界情勢の変化から食の問題が顕在化している昨今において、生産者の想いや生産地の風景の紹介
- ・ 第 5 弾：「ものづくり広島、その成り立ち」(2023 年 11 月～2024 年 2 月)
中四国エリア No. 1 の工業出荷額を誇る広島、発展を遂げてきた過程とともに「ものづくり広島」の魅力を紹介